

令和2年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	健康・医療分野におけるムーンショット型研究開発事業			担当部局庁	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)	作成責任者	
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	令和6年度	担当課室	日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室	参事官 吉屋 拓之 企画官 形岡 拓文	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	・科学技術イノベーション創出の活性化に関する法律第27条の2 ・国立研究開発法人日本医療研究開発機構法17条の2第2項			関係する計画、通知等	・統合イノベーション戦略2019(令和元年6月21日閣議決定) ・健康・医療戦略(令和2年3月27日閣議決定) ・医療分野研究開発推進計画(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定) ・ムーンショット型研究開発制度の基本的考え方について(令和2年2月27日健康・医療戦略推進本部決定)		
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	目指すべき未来像を展望し困難だが実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題に対して健康・医療分野においても貢献すべく野心的な目標に基づくムーンショット型の研究開発を推進すること等を目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	国立研究開発法人日本医療研究開発機構に基金を造成し、健康・医療戦略推進本部で定めるムーンショット目標の実現のため、総合科学技術・イノベーション会議で定める目標とも連携しつつ、内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省が一体となって、研究開発を推進する。また、産学官共同による医薬品・医療機器等の研究開発等もあわせて実施する。						
実施方法	補助						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求
		補正予算	-	-	10,000	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	0	0	10,000	0	0
	執行額	0	0	10,000	-	-	
	執行率(%)	-	-	100%	-	-	
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	100%	-	-	
令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	計	-	0				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 2年度	目標最終年度 6年度
	ムーンショット目標の実現に向け、関係府省と連携して、健康・医療分野において挑戦的な研究開発を推進する。 ※現在、健康・医療分野におけるムーンショット目標の内容等を検討中のため成果見込は「-」	運用・評価指針に基づく評価等により、優れた進捗が認められるプロジェクト数。		件	-	-	-	-	-
		件	-	-	-	-	-	-	
		%	-	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 2年度	目標最終年度 6年度
	産学官共同による医薬品・医療機器等の研究開発等を推進する。 ※現在、産学官共同による医薬品・医療機器等の研究開発等の詳細について検討中のため成果見込は「-」	成果目標が達成されたと評価された件数。		件	-	-	-	-	-
		件	-	-	-	-	-	-	
		%	-	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	活動実績	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	ムーンショット目標に基づき実施している研究開発課題数 ※現在、健康・医療分野におけるムーンショット目標の内容等を検討中のため活動見込は「-」		件	-	-	-	-	-	
		件	-	-	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	活動実績	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	産学官共同による研究開発等の採択課題数 ※現在、産学官共同による医薬品・医療機器等の研究開発等の詳細について検討中のため活動見込は「-」		件	-	-	-	-	-	
		件	-	-	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠	単位当たり コスト	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	実施課題に対する年度配分額(X)／課題数(Y) ※ムーンショット目標分		計算式 (X) / (Y)	-	-	-	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠	単位当たり コスト	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	実施課題に対する年度配分額(X)／課題数(Y) ※産学共同研究分		計算式 (X) / (Y)	-	-	-	-	-	

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	8. 科学技術・イノベーション施策の推進										
	施策	①原子力の研究、開発及び利用に係る政策の検討・情報発信等										
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
		実績値	-	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	健康・医療分野におけるムーンショット目標の実現等を目指すことにより、持続的な科学技術・イノベーション政策の推進等に寄与する。											
	新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
目標値			-	-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-	-				
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明									
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	困難だが大きなインパクトが期待される健康・医療分野の社会課題に対して、野心的な目標を掲げて研究開発等を推進するものであり、国民や社会のニーズを反映している。									
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	非連続的・破壊的なイノベーションを創出するため、失敗も許容した大胆な挑戦が可能となるよう支援する本事業は、地方自治体、民間等に委ねることは困難であり、国が実施すべき事業である。									
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「統合イノベーション戦略2019」や「健康・医療戦略」等にも、ムーンショット型の研究開発制度等を推進する旨明記されており、政策目的の達成に必要なかつ政策体系の中での優先度も高い事業である。										

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	健康・医療分野におけるムーンショット目標の実現等を目指し、研究開発課題を広く公募する予定であり、国立研究開発法人日本医療研究開発機構において今後作成される公募要領に基づき、競争性・支出先の妥当性を確保しながら選定予定。			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	文部科学省は、国立研究開発法人科学技術振興機構を通じて共通基盤的な研究開発や萌芽的・探索的な研究開発を、経済産業省は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構を通じて所掌する分野における挑戦的な研究開発を、農林水産省は生物系特定産業技術研究支援センターを通じて農林水産分野の産業創造や社会変革を実現する研究成果の創出を行い、内閣府は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構を通じて健康・医療分野における研究開発を行う。			
	所管府省名	事業番号	事業名				
	文部科学省	0222	ムーンショット型研究開発プログラム				
	経済産業省	0017	ムーンショット型研究開発事業				
点検・改善結果	点検結果	本事業は、困難だが実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題に対して健康・医療分野においても貢献すべく野心的な目標に基づくムーンショット型の研究開発等を行うものである。今後、健康・医療戦略推進本部でムーンショット目標が決定された後、研究開発を開始するに当たっては、事業の効率性、事業の有効性のいずれの観点からも、本事業を適切に運営する予定である。					
	改善の方向性	-					
外部有識者の所見							
野心的な目標を掲げる研究開発の受け皿として基金をおき、事業の終了予定なしとされているが、他省のものも含め、3～5年程度で、基金方式、その規模等につき見直す機会をあらかじめ設定しておくべきではないかと思う。							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現 状 通	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。 また、外部有識者の所見を踏まえ、事業終了(予定)年度の設定の見直しを行うこと。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
執 行 等	外部有識者からの所見を踏まえ、事業終了年度を設定しました。						
備考							
関連する過去のレビューシートの実績番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度	-						
平成31年度							

